避難を円滑に行うための対応策①

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

- PAZ及びUPZ内の住民の車両による避難を円滑に行うため、県、市町職員、警察官等により道路渋滞を把握し、主要交差点等における交通整理・誘導・規制、避難誘導・交通規制用自動制御板等を活用した広報等の交通対策を行う。

PAZ内における交通対策

○道路渋滞把握対策
ﾍﾘﾃﾚ伝送ｼｽﾃﾑを活用し、道路渋滞の把握を実施

○交通誘導対策
主要交差点等における市町、県警察等の交通整理により、円滑な避難誘導を実施

○交通広報対策
日本道路交通情報ｾﾝﾀｰ(JARTIC)、道路情報板、避難誘導・交通規制用自動制御板等を活用した広報
光ﾋﾞｰｺﾝを活用した交通情報提供ｼｽﾃﾑ（AMIS）による広報

○交通規制対策
混雑ｴﾘｱでの交通整理・誘導・規制、主要交差点における信号機操作等による円滑な交通流の確保

【凡例】
- 避難誘導及び交通規制箇所
- 迂回用交差点
- 交通情報板

【警察による避難誘導ｲﾒｰｼﾞ】

【ﾍﾘﾃﾚ伝送ｼｽﾃﾑの活用】

避難を円滑に行うための対応策②

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

- 玄海町は、避難経路図や避難所写真を掲載したﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄを玄海町全戸に配布し、また玄海町内の各地区公民館に掲示。
- 唐津市は、各避難地区の集合場所や避難先、避難ﾙｰﾄ等を検索できる原子力災害対応避難ﾙｰﾄﾏｯﾌﾟをﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ上に公開。また唐津市全戸に、原子力防災の避難に係るﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄを配布。
- 佐賀県は佐賀県内の避難元市町及び避難先市町全戸に、原子力災害に関する基礎知識や原子力災害発生時にとるべき行動などについてまとめた、原子力防災のてびきを配布。

玄海町

【原子力災害時における避難経路図】
玄海町全戸に配布
玄海町内の各地区公民館に掲示

唐津市

【原子力災害対応避難ﾙｰﾄﾏｯﾌﾟ】
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ上で閲覧可能
http://www.city.karatsu.lg.jp/bousai/bosai/bosai/genshiryoku/map/ict.html

【唐津市原子力防災ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ】
唐津市全戸に配布

佐賀県

【原子力防災のてびき】
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ上で閲覧可能
http://www.pref.saga.lg.jp/kiji0031231/index.html

自然災害等により避難先が被災した場合の避難先の調整

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

- 自然災害等により、避難先施設が使用できなくなった場合は、UPZ外の県内避難先施設（合計513施設）を候補として、佐賀県及び県内の市町が調整のうえ、避難先を決定する。
- 佐賀県内において避難先が確保できない場合には、国、全国知事会、災害時応援協定を締結している九州・山口各県等と調整を行う。

佐賀県内における避難先施設（UPZ外）

市町	受入施設数	受入可能人数
小城市	32か所	12,533人
江北町	7か所	2,300人
白石町	22か所	7,120人
多久市	15か所	5,336人
大町町	7か所	2,912人
佐賀市	132か所	55,955人
神埼市	25か所	8,600人
上峰町	11か所	3,098人
鳥栖市	34か所	11,999人
基山町	9か所	3,598人
みやき町	17か所	10,124人
吉野ヶ里町	12か所	3,952人
武雄市	53か所	20,604人
鹿島市	26か所	10,608人
嬉野市	53か所	11,070人
有田町	42か所	8,871人
太良町	16か所	7,847人
合　計	**513か所**	**186,527人**

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

6. UPZ内における対応

＜対応のポイント＞

1. 全面緊急事態となった場合、放射性物質の放出前の段階において、住民（避難行動要支援者を含む）は屋内退避を開始するため、これを円滑に実施できる体制が必要。

2. 放射性物質の放出後は、緊急時モニタリングの結果を踏まえて、原子力災害対策指針で定める基準（OIL）に基づき、空間放射線量率が基準値を超える区域を特定し、当該区域の住民が一時移転等を行うこととなるため、一時移転等できる体制を整備。一時移転等の対象区域以外は、原子力災害対策本部の指示があるまで屋内退避を継続。